

# 災害対策について「伴に」考える研究会

## 第17回定例会

東京オリンピック・パラリンピック開催を視野に入れ、健常者に限らず社会的擁護が必要な高齢者や障害者等、あるいは言語等外国人が抱える問題にも目を向け、地域社会や地域住民の多様性や個々の特徴を把握・理解・尊重し、何より **命** を一義的に、災害対策の基本である安全・安心確保のための、Health (健康)・Coexistence (共存)・Well-being (幸福) を意識した「地域に内在する多種多様なリスクを把握した上での医療・保健・福祉支援システム」を協働で創ることを本研究の目的とする。

日時：平成29年12月15日(金) 開場:18時、開演:18時30分  
会場：成城中学・成城高等学校(新宿区・指定避難所)、大会議室  
新宿区原町3-87(都営大江戸線牛込柳町駅西口すぐ)

司会：内藤 俊夫(順天堂大学医学部総合診療科、教授)

## 地域の住民等の特徴を踏まえた社会支援システム構築

- 1) 学校・行政・自治会との連携を目指した地域防災  
学校法人自由学園 危機管理本部 本部長  
保健体育・防災士／危機管理士(2級)  
菘田 圭二 先生



- 2) 災害時に、特に支援が必要な住民の状況把握と対策づくり  
御挨拶：成城学校避難所運営管理協議会、代表世話人  
土屋 勝 氏

成城学校避難所地域包括ケアチーム、チームリーダー

前 新宿区柳町、民生委員／成城学校避難所運営管理協議会メンバー

中居 信子 氏

☆ 被災者の「食」演習(オットントット・ダイナー、シェフ 杉本 純 氏) ☆

※ 日常の食材で作る一般食・アレルギー対応食

※ 新宿区・成城関係者、研究会・研究班メンバー、順天堂関係者、その他 (要申込)

共 催：成城学校避難所運営管理協議会

災害対策について「伴に」考える研究会／順天堂大学医学部総合診療科

問合先：坪内 暁子、順天堂大学研究基盤センター分室、 akiko@juntendo.ac.jp

